

爲仲云、濟時卿女○藤原被參三條院之時之日夕、大將○濟參大入道殿○藤原被中云、被下輦車宣旨哉、件事欲蒙莫大恩、返答云々、ナドカハ可無恩許之事也、欲奏達云々、大將不堪感悅、起座拜舞退出、及入内之剋限、雖相待宣旨、已以無音、敷筵道被參入也、時人密號空拜大將、又彼大將家前庭有紅梅、便稱空拜云々、

〔公卿補任 後一條〕長和六年○寛仁元年

左大臣 正二位藤顯光七十 三月廿二日轉任（中略）

右大臣 正二位藤公季六十 三月廿二日聽輦車（同）

〔日本紀略 後一條〕寛仁二年正月三日丁酉、今日、太政大臣○藤原道長蒙乘輦車、出入宮中之宣旨、

萬壽三年四月一日丁未、今日、右大臣○藤原實資被聽乘輦車、出入宮城、七月九日壬子、右大臣蒙輦車

宣旨之後、始乘輦車、入自待賢門、參枇杷陣、

〔範圍朝臣記〕長元九年四月十九日丁卯○是月十七日、後一條、崩後朱雀即位殿下○藤原賴通以權左中辨實資被奏、年料

米解文、先被聽昇殿、次奏聞、次殿下、如舊被聽、可乘牛車、右府○藤原實資可乘輦車、出入待賢門者、左頭中

將奉仰、仰源大納言師房

〔公卿補任 後冷泉〕天喜四年

右大臣 正二位藤教通六十 左大將、皇太弟傅、十二月二十九日聽輦車十二

天喜五年

內大臣 正二位藤賴宗六十 右大將、十一月十五日聽輦車十一

〔續世繼 四花櫻〕近き世の關白には、大殿○藤原實として、をちの大ニ條殿○藤原通の次に、一の人にお

はしまし、こそ御みめもよく、御心ばへも末榮えさせ給ふことも、すぐれておはしまし、か○中

略承保三年九月○三十日内覽の宣旨かぶり給て、十月三日、氏の長者にならせ給、十五日に關白に